

日本語学習支援者向け ブラッシュアップ講座

2026.01.24

岩手県は、地域で外国人の日本語学習を支える人を対象に、教材活用のブラッシュアップ講座を開催した。学習者の水準に合う教材の選び方や、それぞれの教材の特徴、効果的な使い方を学ぶ内容である。

2025年12月20日、2026年1月10日、1月24日の全3回で、各回異なる教材を扱った。

講師は岩手地域日本語教育コーディネーターの嶺岸玲子氏で、地域日本語教室のスタッフ、日本語サポーター、日本語教師などを対象とした。

各回の定員は20人、参加費は無料で、外国人住民を支える地域側の指導力向上を目的とした。



円安の影響でインドネシアやミャンマーにシフト 県内の外国人雇用が過去最多

2026.02.14

岩手労働局の集計で、2025年10月末の県内外国人労働者は8,415人、雇用事業所は1,311か所となり、ともに過去最多を更新した。

主な就業先は食料品製造、建設、小売、農業、介護などだった。

国籍別ではベトナムが2,254人で全体の26.8%を占めたが、前年からわずかに減少した。

インドネシアは422人増の1,698人となり、ミャンマーからの人材も増えている。

円安で日本の賃金の魅力が相対的に低下する中、企業の採用先がベトナムから他国へ広がっていると分析した。



失踪したベトナム人技能実習生13人を住み込みで働かせた 中国籍のピーマン農場主を逮捕

2026.03.03

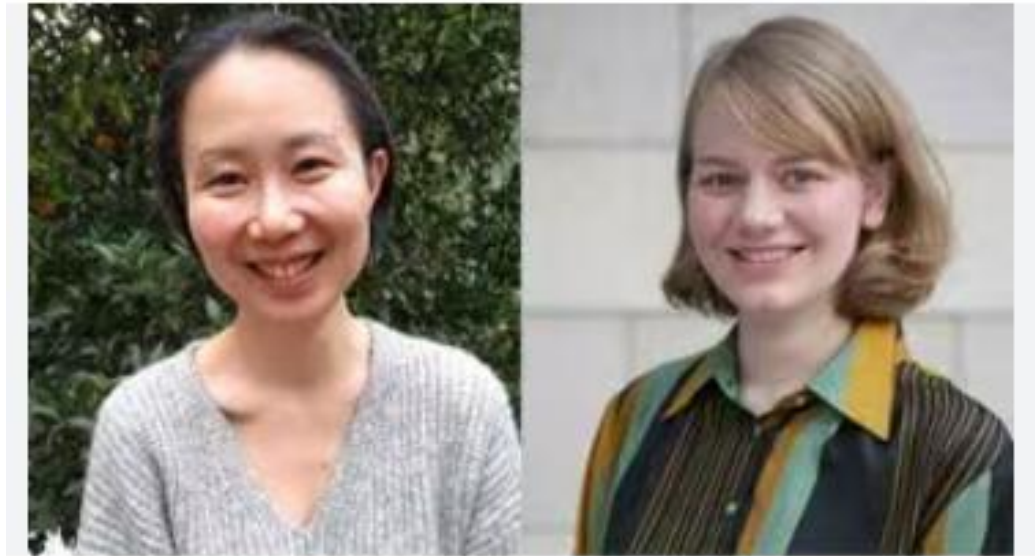
岩手県警は2月26日、就労資格のないベトナム人13人を農場などで働かせたとして、中国籍の会社役員の男、36歳と従業員の名、41歳を逮捕した。

13人は関東地方などの技能実習先から失踪した元実習生で、九戸村のピーマン農場などに住み込みで働いていたとされる。

報道によると、日当は8,000～1万円程度で、勤務時間は午前8時半から午後5時半だった。

従業員の男が就労先を仲介していた疑いがあり、警察が組織的な受入経路を調べている。

失踪者が人手不足地域の非合法的な労働力として吸収される構造を示す事件として報じられた。



新戦力たちが老舗の温泉宿に新しい風を吹き込む 花巻温泉入社式

2026.04.01

花巻温泉は2026年度の入社式を行い、新入社員19人のうち外国人2人を採用した。
同社は2027年に創業100周年を迎え、旅館4施設やバラ園などを運営している。
宿泊客の約3割が台湾などからの外国人で、既に4か国出身の外国人スタッフ8人が接客や通訳を担当している。
新入社員はネパール出身のカルキ・ヒマさんと、バングラデシュ出身のサラウディン・エモデさんで、英語力や接客力を生かす考えを示した。
外国人採用を人手不足対策にとどめず、国際的なサービス力向上につなげる企業事例である。



2026オンラインにほんごきょうしつ

2026.06.14

岩手県は、県内在住の日本語初学者を対象に無料のオンライン日本語教室を募集した。

ひらがな・カタカナと、買物や移動など生活に必要な最低限の会話表現を学ぶ。

授業はZoomを使い、2026年7月7日から10月20日まで全19回実施する計画である。

対象は18歳以上で岩手県に住み、全授業に参加できる人とし、事前インタビューも設定した。

技能実習生や特定技能外国人を含む就労者が、勤務先以外でも基礎日本語を学べる地域支援となっている。

